

北九港&空 NEWS

2019
FALL
Vol.18



大里地区 海岸緑地 令和元年11月30日撮影



関門海峡キャンドルナイト2019 令和元年11月16日撮影

イベント報告

北九州空港まつり

令和元年9月28日(土)、北九州空港にて「北九州空港まつり」が開催され、親子連れなど、多くの方で賑わいました。
当事務所では、北九州空港の整備状況や利用情報などを紹介したパネル展を行い、空港工事受注者の協力により、小型バンクホウ体験乗車によるボールすくいも実施しました。
空港整備の仕事について知っていただく良い機会となりました。



ニュース (NEWS)

みなとオアシスに登録

令和元年11月15日(金)、北九州港が港の賑わい拠点となる「みなとオアシス」に登録。翌16日(土)には、「北九州港開港130周年記念式典」に合わせて、「みなとオアシス門司港」の登録証交付式が行われました。

「みなとオアシス」とは、「みなと」を中心としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域の活性化への取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。「みなとオアシス門司港」は、全国で134箇所目、福岡県内では「みなとオアシスむなかたおおしま(大島港)」に次いで2箇所目の登録となります。



代表施設「旧大連航路上屋」

昭和4年に建設された「旧大連航路上屋」は、北九州港(門司港)の国際ターミナルとして使われていました。現在は、各種多目的スペースを活用してのイベントや文化・芸術の発表の場であり、情報発信や交流の拠点となっています。

関門海峡ミュージアムリニューアルオープン

令和元年9月21日(土)、門司港レトロ地区から徒歩圏内の西海岸地区にある関門海峡ミュージアムがリニューアルオープンしました。施設内では、日本最大級のスクリーン(縦9m×横18m)映像で関門海峡の自然や歴史の海峡ドラマを体験できます。また、船舶の操船シミュレーションや関門海峡の潮流を自由に変えられるなど、関門海峡を楽しみながら学ぶことができます。



操船体験

潮流体験

国土交通省 九州地方整備局
北九州港湾・空港整備事務所
〒801-0841 福岡県北九州市門司区西海岸1-4-40
TEL(093)321-4631 FAX(093)322-5525
Webアドレス <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kitakyusyu/>



九州地方整備局では、平成29年7月より、各施設を管理する事務所等でインフラカードを無料配布(全65種類)。各配布施設等で希望すると1人1枚無料で入手できます。



- ▽ テーマ
北九州港「大里地区」
- ▽ ニュース
みなとオアシスに登録
関門海峡ミュージアムリニューアルオープン





北九州港大里地区は、JR門司駅に隣接し、小倉都心に近く、利便性の良い地区です。また、国登録文化財として北九州市門司麦酒煉瓦館や旧サッポロビール九州工場醸造棟などの歴史ある建物が多数現存しており、関門海峡を眺められる海岸緑地が整備されています。今回は、この歴史ある大里地区について紹介します。



①大里地区の歴史

平安時代・江戸時代

大里地区は関門海峡に面し、下関に近いことから、関門を渡る港として利用されていました。

古くは「柳」や「柳ヶ浦」と呼ばれ、平安時代に安徳天皇を伴った平家一行が「柳の御所」を設け、「内裏(だいり)」と呼ばれるようになり、その後、江戸時代に「大里」と書き改められました。

参勤交代により、九州の諸大名が小倉または大里から渡航することが多くなり、大里地区は宿場町として栄えました。



豊前大里宿跡

明治時代

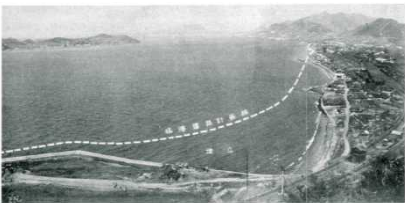
大里地区において日本の近代化に貢献したとして知られる鈴木商店の工場を始め、現在も当時の面影を残す煉瓦造りの建造物が多く建築されました。中でも、明治37年に竣工した関門製糖株式会社工場棟(旧鈴木商店大里製糖所)は、全国でも珍しい現役で稼働している煉瓦造工場となっています。



関門製糖株式会社工場棟 (旧鈴木商店大里製糖所)

昭和時代

昭和30年当初、港湾が発展するとともに大里地区で取り扱う貨物も増えたことから、昭和33年に臨港道路の整備工事が始まり、現在の姿となっています。



昭和32年撮影



昭和63年撮影

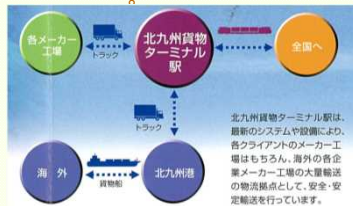


北九州貨物ターミナル駅

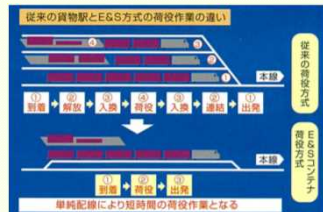
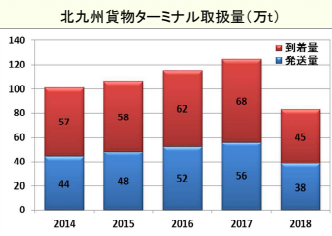
鉄道における貨物の現状や今後の展望について、お話しを伺いました。

Q3 今後の展望についてお聞かせください。

平成30年の取扱貨物量は、同年7月の豪雨の影響により減少していますが、全国的にモーターリフトが進むなか、当駅で取り扱う貨物量は増えています。また、大都市圏でも海外から届く貨物が増え、輸送待ちに時間がかかる状況となっています。そのため、一旦門司港に貨物をあけてから鉄道などで大都市圏に送るシー&レール輸送等の需要が増えてきており、それらの需要に対応できるように取り組んでいきます。



シー&レール輸送の仕組み (日本貨物鉄道(株)提供資料)



E & S方式の仕組み (日本貨物鉄道(株)提供資料)

③釣り振興

平成31年3月29日、大里地区は「釣り文化振興モデル港」に指定されました。全国13港のうち、福岡県では北九州港と芦屋港の2港が指定されています。

令和元年10月19日、門司駅近くの大里地区の物揚場及びその周辺において、親子釣り教室が開催されました。約170名の家族が参加し、親子釣り教室の他に、稚魚の放流なども行われました。



親子釣り教室(公益財団法人日本釣振興会・九州地区支部主催)

釣り文化振興モデル港とは

国土交通省では、観光資源として港湾における既存の防波堤等の利活用を進めており、地方創生を目的とした釣り文化振興の取組が進められている港湾を「モデル港」として募集し、「釣り文化振興モデル港」として指定しています。

②北九州貨物ターミナル駅

日本貨物鉄道株式会社 九州北部支店 副支店長の近藤様にお話を伺いました

Q1 北九州貨物ターミナル駅について教えてください。

平成14年、時代の流れにより「コテナ」が増えたことから、浜小倉駅や東小倉駅、門司の操車場を統合して、この大里地区に貨物ターミナル駅を造りました。この立地を活かし、関門トンネルを利用して運ばれてきた貨物をそのまま九州島内へスムーズに運ぶことができます。

Q2 北九州貨物ターミナル駅の特徴を教えてください。

北九州貨物ターミナル駅では、本線上の列車から直接積卸しが可能な着発線荷役(E&S方式)を採用しており、到着してすぐ輸送することが可能となりました。そのため、作業時間を約1時間短縮できることから、出発直前まで積み込みが可能となり、締切時間に余裕ができました。



各駅の位置図